

2020年3月期 通期決算短信 補足説明資料

株式会社オプティム

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

- 2020年3月期（第20期）決算ハイライト
- 2020年3月期（第20期）活動実績
- 2021年3月期（第21期）業績予想

2020年3月期（第20期）決算ハイライト

.....

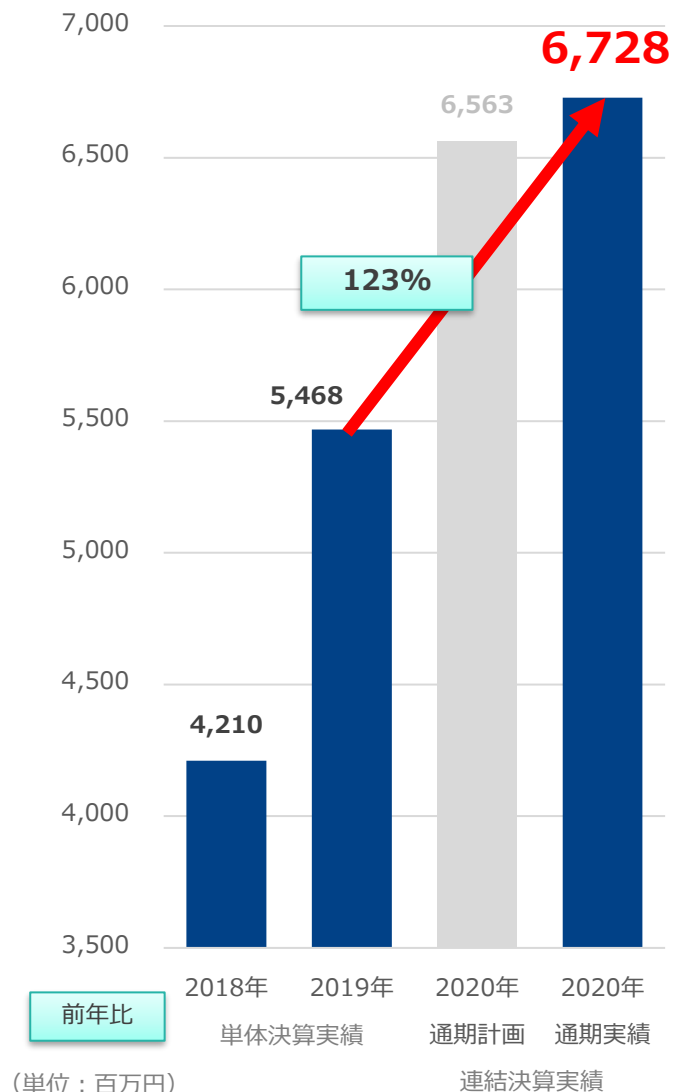
創業来**20期連続**となる
過去最高売上高を達成
2020年3月期の当初売上予測
65.63億から**上振れ**、**67.28億**で着地

売上の70%程度を占める既存サービスのストック型ライセンス売上については、順調にライセンス数を積み上げることが出来ました。

新規サービス（AI/IoTサービス）の受注が好調で、前年比190%以上の実績となりました。
全体売上に占める割合が30%程度となりました。

その結果、全体売上においても前年比123%での着地となっております。

売上実績の推移



前期は単体決算でしたが、参考値として連結実績との比較を行っております。

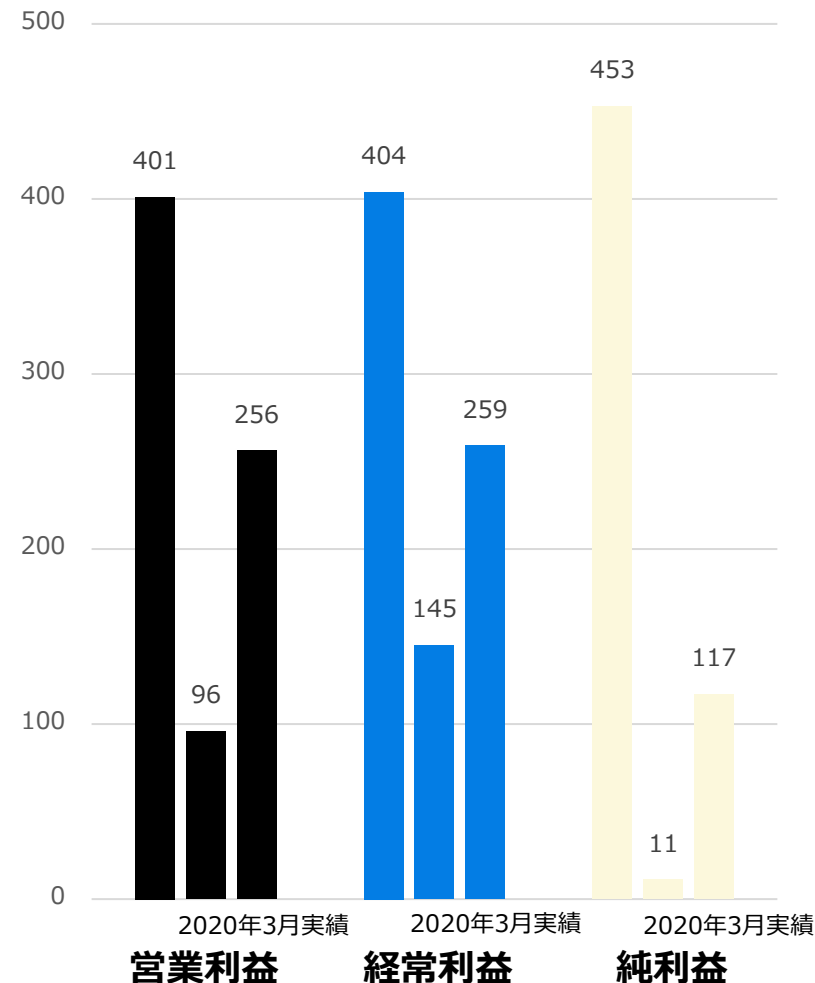
第4次産業革命の中心的企業になるべく AI・IoT・Robotics分野への 積極的投資継続中

～ **利益は通期計画範囲通り** ～

当期も前期に引き続き、戦略的に研究開発に積極投資を実施した一年でした。実績としては、19億円超（前年比で約93%）の研究開発投資となっております。

その結果、
営業利益は、256百万円（前年比266%増）
経常利益は、259百万円（前年比178%増）
純利益は、117百万円（前年比1063%増）
となっております。

3カ年利益実績推移



(単位：百万円) 2018年・2019年は単体決算実績、2020年は連結決算実績

2020年3月期（第20期）活動実績

新サービス

「OPTiM Cloud IoT OS」
～ 「OO×IT」 ～

これまでの〇〇×ITの具体的な取組み

AI・IoT・Robotics等の最先端技術を、新たな価値の創造や課題解決を実現するため、
様々な業界や産業と融合させた事業を幅広く展開中

OPTiM

ロボット x IT

- 精密機械・ロボット分野の AI・IoT活用

Powering your potential

農業 x IT

- AI・ドローンを活用したピンポイント農薬散布
- オプティムアグリ・みちのく
- 「スマート農業アライアンス」
- 「スマート農業プロフェッショナルサービス」

運輸 x IT

- 無人駅画像に対するAIでの侵入検知

医療 x IT

- 遠隔診療「ポケットドクター」
- メディカル・イノベーション研究所
- 先端医療 x AI・IoT
- 次世代医療用ロボット

金融 x IT

- AIを活用した振り込め詐欺対策
- 合併会社設立に向け基本合意

建設 x IT

- 建設生産プロセス全てを見える化
- スマートグラスによる遠隔作業支援

小売 x IT

- AIを活用した無人店舗

警察 x IT

- 防犯技術等の包括連携協定

電力 x IT

- 戦略的提携締結

ずっと先まで、明るくしたい。

これまでの〇〇 × ITの具体的な取組み

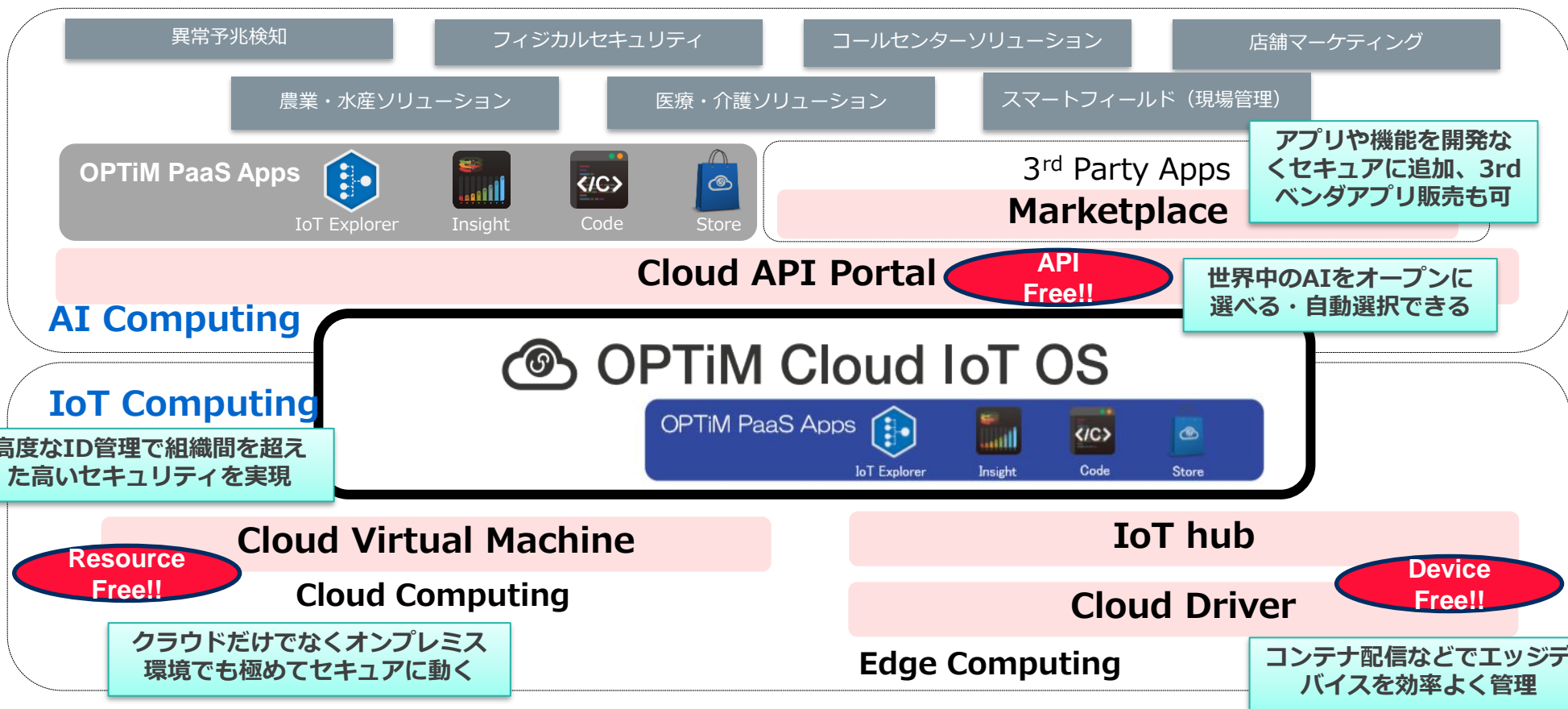
〇〇(業界)	発表時期	内容	提携先
農業	2019/5	京成上野駅にて、「スマート玄米」を期間限定で販売	
	2019/6	無添加・無着色・カフェインゼロのお茶「香ばし大豆茶」、「香ばし黒豆茶」の販売を開始	
	2019/7	スマート農業を活用した 特産物の生産力強化に向けた共同事業 を実施	兵庫県丹波県民局
	2019/7	AI・ドローンを用いた作付け確認業務支援 の実証事業を開始	長崎県五島市
	2019/10	AI・IoT・ドローンを活用した スマート農業分野での協業 を発表	エンルート
	2019/10	スマート農業に対する課題解決をワンストップで支援する「 スマート農業プロフェッショナルサービス 」開始	
	2019/11	ピンポイント農薬散布テクノロジー の特許、九州地方発明表彰の「 文部科学大臣賞 」を受賞	
	2019/11	ベトナム国営最大手通信グループVNPTと、AIサービスおよび スマート農業分野 において 業務提携	VNPT
	2019/11	AIやドローンを使い、農薬使用量を抑えたあんしん・安全なお米「 スマート米2020 」、 2019年度産新米の販売を開始	
医療	2019/4	医療画像診断支援AI統合オープンプラットフォーム「 AMIAS 」（アミアス）を提供開始	
	2019/5	「 眼底画像診断支援システム OPTiM Doctor Eye 」医療機器プログラムの 認証を取得	
	2019/6	佐賀大学とオプティム、 医療画像診断支援AIの臨床研究 を推進	佐賀大学

これまでの〇〇 × ITの具体的な取組み

〇〇(業界)	発表時期	内容	提携先
医療	2019/7	AI・IoTを活用した 在宅医療支援サービスのビジネスマッチング を開始	佐賀銀行
	2019/8	AIカメラ の導入で広がる 介護 の未来！	ソラスト
	2019/9	摂食障害患者への臨床研究ツール に「 オンライン診療ポケットドクター 」が採択	MRT、国府台病院
	2019/9	「 OPTiM AI Camera 」を用いた手指衛生モニタリング手法の評価を行う共同研究を開始	聖路加国際大学
	2019/11	次世代の医療・診断を支えるデジタル医療の事業化加速を目的に 合併会社設立に向け基本合意	シスメックス
	2019/11	次世代医療用ロボット に関連する業務において業務提携	メディカロイド
	2020/2	新型コロナウイルス感染症対策 の基本方針を受け、「 オンライン診療ポケットドクター 」を 無償提供	MRT
	2020/4	オンライン診療プラットフォームのOEM提供 を発表	
建設	2019/9	AI・IoT技術を活用した取組みを推進すべく、「 建設×IT 戦略的包括提携 」を締結	松尾建設
	2020/1	遠隔作業支援サービス「Optimal Second Sight」のOEMサービス「Generation-Eye (G-eye)」、国土交通省の新技术情報提供システム NETISに登録	Atos
警察	2019/8	遠隔作業支援サービス「 Optimal Second Sight 」、災害対策の支援機器として提供開始	佐賀県警察
小売	2020/3	羽田空港国際線ターミナル出国エリア内の訪日外国人旅客向け特設会場へ「 OPTiM AI Camera 」を提供	ジェットロ
金融	2020/3	佐賀銀行とオプティム、 合併会社設立に向け基本合意	佐賀銀行
ロボット	2019/11	精密機械・ロボット分野 のAI・IoT活用における業務提携	川崎重工業

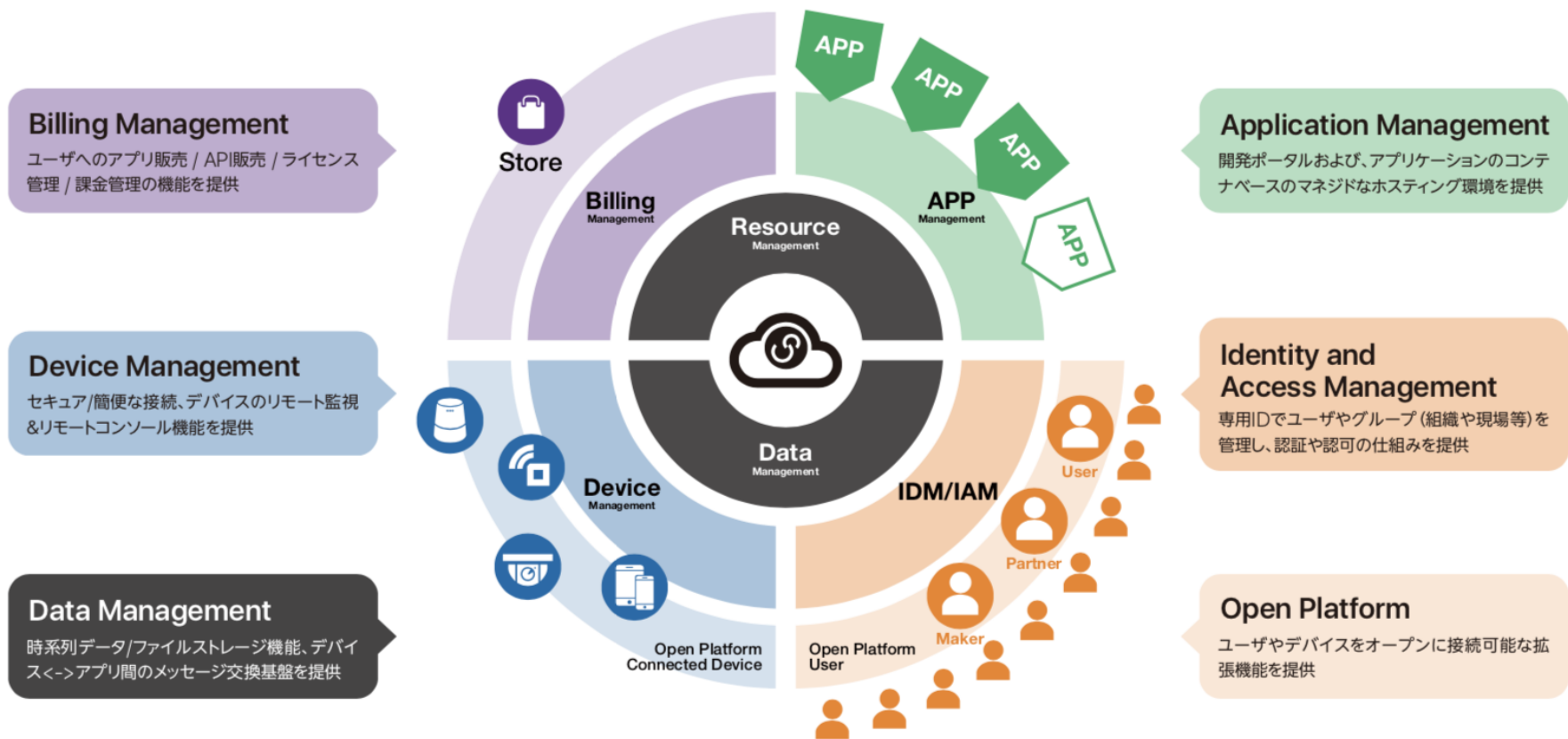
オペティムの強み : OPTiM Cloud IoT OS

オープンプラットフォーム「OPTiM Cloud IoT OS」をベースに、様々なベンダーフリーを実現



プラットフォームのためのプラットフォーム

AI・IoTプラットフォームとしてエコシステムを形成するための一連の機能を具備



オプティムのAIソリューションが 4部門で市場シェアNo.1を獲得

～ ミック経済研究所発刊の調査レポートにおいて ～

OPTiM[®] AI Industry



オプティムのAIソリューションが、業種別売上高動向の「農林水産業」・「医療」部門、ユーザー従業員規模別売上高動向の「ユーザー従業員数300名未満の売上動向」部門、測定・観察・探索市場動向の「測定・観察・探索ベンダーシェア」の4部門でシェア1位^{※1}を獲得

※1 出典：ミック経済研究所 2019年9月17日発刊、「AI（ディープラーニング）活用の画像認識ソリューション市場の現状と展望【2019年度版】」より

「OPTiM AI Camera」新サービスを発表： 「OPTiM AI Camera Lite」 「OPTiM AI Camera Mobile」 「OPTiM AI Creator」

エントリープランとスマホだけで使えるサービスが登場、
お客様によるAIの追加作成も実現

■解析結果閲覧イメージ



スマホ・タブレットを使って始められる
AI画像解析サービス



紹介動画URLはこちら：

<https://youtu.be/GUy830D4BWM>

https://youtu.be/wV8Ckj_MeI

「OPTiM AI Research」 「OPTiM AI Signage」を発表

AIによる詳細な顧客分析、店頭におけるピンポイントでのマーケティングを実現

■ 「OPTiM AI Research」



小売店舗内に設置されたタブレット・カメラによって画像解析を行い、商品に対するお客様の反響を収集するAIサービス

■ 「OPTiM AI Signage」



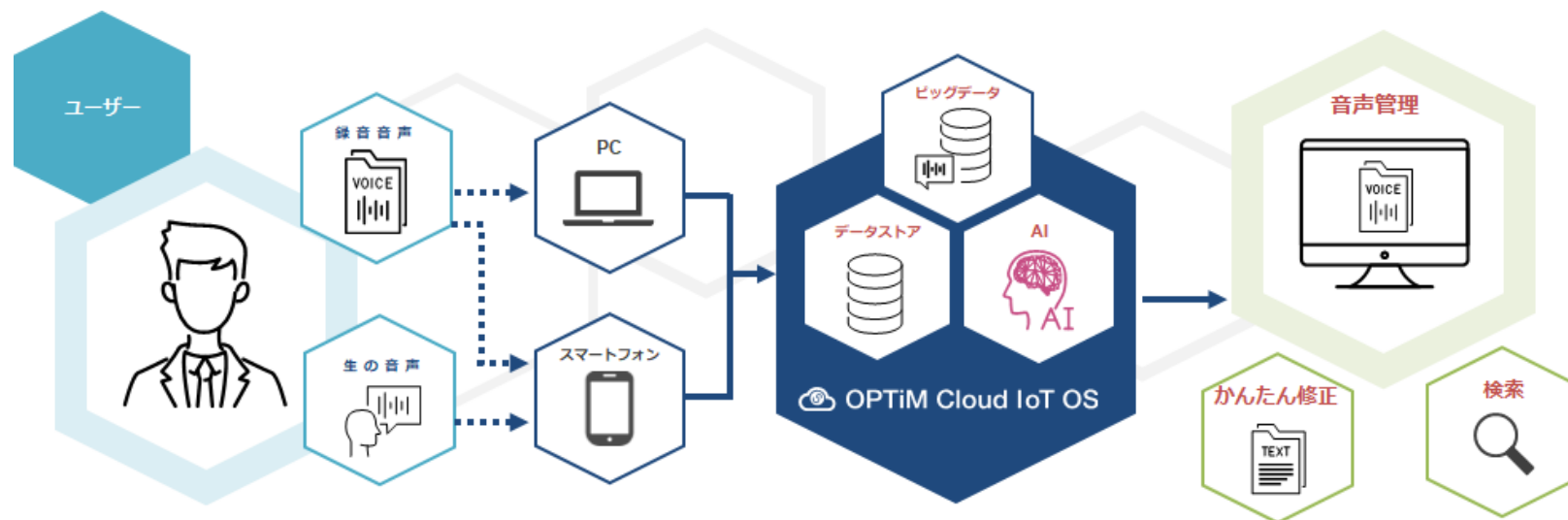
タブレットやデジタルサイネージ端末など、現場に設置された広告媒体に対して、まるでWeb広告のような感覚で広告出稿・運用できるサービス

紹介動画URLはこちら：

<https://youtu.be/1en2pWrTafw>

AI音声解析サービス 「OPTiM AI Voice Recorder」を発表

「OPTiM AI Voice」を大幅バージョンアップ、月額8,300円から利用可能



AIによるリアルタイム音声認識・テキスト変換の基本機能はそのまま、「データ保存」「データ検索」の2つの機能を強化。従来のAIを用いた文字起こしによるコスト削減に加え、会議やお客様対応などの場面でまず録音だけを行い、あとから必要な箇所だけを解析・データ化するなど、記録を残す目的でご利用いただくことも可能。

兵庫県丹波県民局とスマート農業を活用した 特産物の生産力強化に向けた共同事業を実施

1. 病害虫検知技術にかかる研究開発・実証

丹波黒大豆における検知可能病害虫の拡充、及び新規作物として山の芋における葉渋病などの病害発生状況のAI（人工知能）による早期検知手法の確立を目指します。

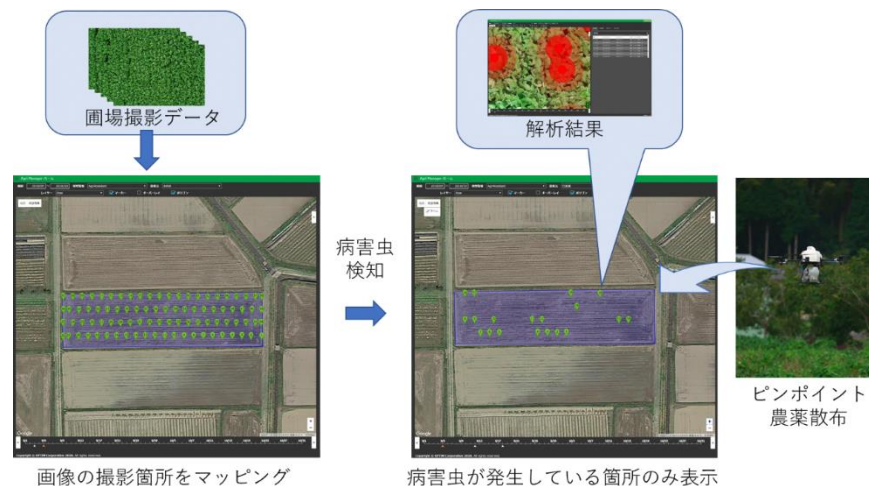
2. ドローンによるピンポイント農薬散布テクノロジーを組み合わせた病害虫防除体系の構築

丹波黒、山の芋における最適な農薬散布手法等を検証し、防除体系の構築を目指します。

◆「丹波黒大豆・枝豆」、「山の芋」のイメージ



◆「ピンポイント農薬散布」実施イメージ



AIやドローンを使い、 農薬使用量を抑えたあんしん・安全なお米 「スマート米2020」、2019年度産新米の販売を開始



残留農薬
不検出

スマート米2020

(2019年度産新米)

とっても体にやさしい お米できました。

ドローンで撮影した田んぼの画像をAIにより解析することで、
病害虫の発生箇所を特定し、必要な場所のみピンポイントで
農薬を散布する農法で栽培したお米です。


SMART AGRI FOOD
買ってる人も、食べるひと、みんなウレシイ

■ 「スマート米2020」 (2019年度産) 取扱品種

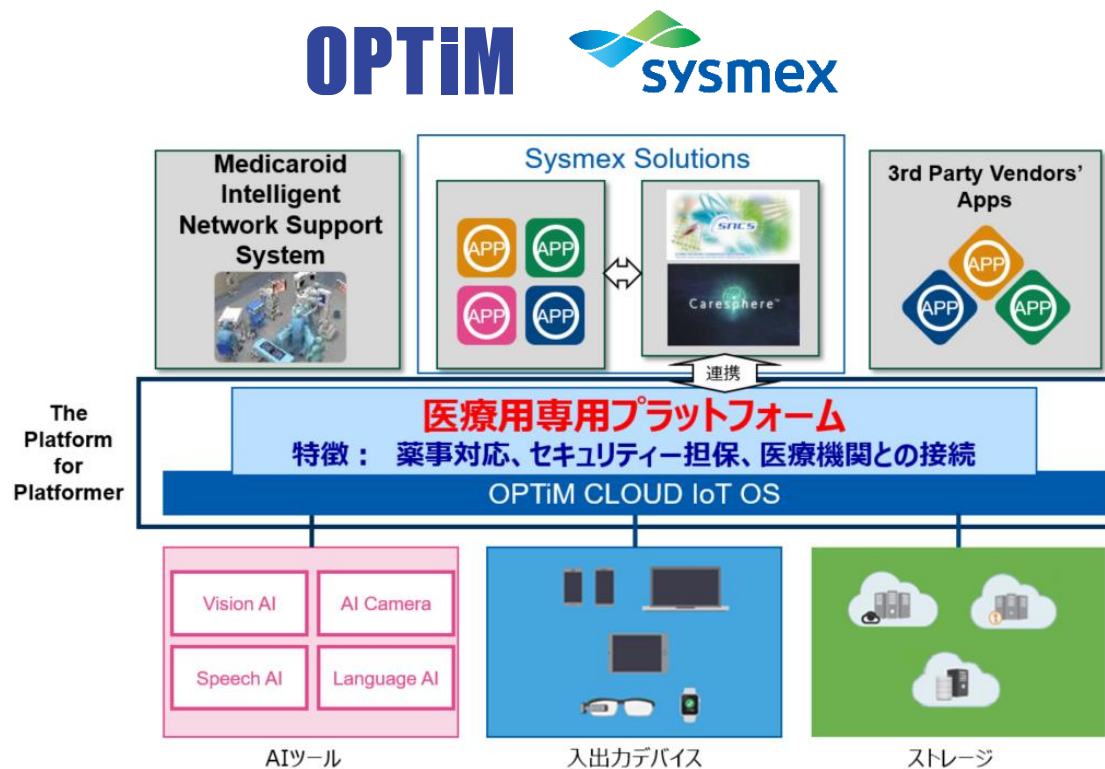
佐賀県産「さがびより」・大分県産「にこまる」・福岡県産、佐賀県産「ヒノヒカリ」

青森県産「まっしぐら」・佐賀県産「夢しずく」 (2019年産より新発売)

青森県産「つがるロマン」 (2019年産より新発売)・新潟県魚沼産「コシヒカリ」 (2019年産より新発売)

オプティムとシスメックス、次世代の医療・診断を支える デジタル医療の事業化加速を目的に合併会社設立に向け基本合意

～デジタル医療に関するプラットフォームとアプリケーション
の早期提供を目指す～



オプティムとメディカロイド、 次世代医療用ロボットに関連する業務において業務提携



両社のシナジーを最大限に発揮し、高度なAI・IoT技術を応用した次世代手術支援ロボットシステムの開発を通じて、理想の医療の実現へ取り組んでまいります。

オプティムと川崎重工、 精密機械・ロボット分野のAI・IoT活用における業務提携

OPTiM

 **Kawasaki**
Powering your potential



両社は、様々な産業での活躍が期待される精密機械・ロボットをネットワークに接続し、得られる情報をAIが解析するプラットフォームを構築することで、精密機械・ロボット分野におけるAI・IoT技術を生かした、新たなビジネスソリューションの早期開発・事業化とグローバル展開を目指します。

既存サービス・その他

複数調査レポートにおいて、シェアNo.1を獲得

ミック経済研究所 : 2018年度国内EMM・MDM市場でシェアNo.1 ※1を獲得



IDC Japan : 2018年国内エンタープライズモビリティ管理ソフトウェア市場 売上額実績シェアNo.1 ※3を獲得



富士キメラ総研 : 4年連続 国内MDM・EMM市場でシェアNo.1 ※2を達成



テクノ・システム・リサーチ : 2019年の「モバイル管理市場」において、19部門中13の部門でシェアNo.1 ※4を獲得



※1 出典: ミック経済研究所 2019年9月発刊、「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2019年度版」より
※2 出典: 2016年11月発刊、「2016 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)」, 2017年9月発刊、「2017 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)」, 2018年10月発刊、「2018 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)」, 2019年10月発刊、「2019 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)」より
※3 出典: IDC Japan発刊、「国内システム/サービス管理ソフトウェア市場シェア、2018年 : SaaSとITオペレーション分析の本格化」 # JPJ44569319より
※4 出典: テクノ・システム・リサーチ2020年1月発刊、「2019-2020年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」の「II.市場動向編」、「2.モバイル管理市場」より

INTELLECTUAL-PROPERTY

IPインフォメーション

IPインフォメーション：オプティムが保有する特許について、その内容と活用例、活用イメージを定期的に分かりやすく紹介していきます。

<https://www.optim.co.jp/news/intellectual-property>



OPTiM初の単独プライベートショー

「OPTiM Innovation2019」を開催

AIの未来とあらゆる産業のビジョンがここに集まる

<https://www.optim.co.jp/event/201910-optiminnovation-report>



「OPTiM KOBE」を新たに開設

紹介動画URLはこちら：<https://youtu.be/Yf9HEFaR8IM>

2021年3月期（第21期）業績予想

第4次産業革命の中心的企业になる

〇〇×IT戦略に対する投資計画

おおむね順調に進捗
更なるAI・IoT・Roboticsの技術獲得
及び売上計上に向けた取組を推進する

AI・IoT・Robotics分野への積極投資を継続し、本格的な売上計上、及び、利益回収を以下年表に基づき実現していく。（年数は、年度表示）

研究開発投資推移イメージ



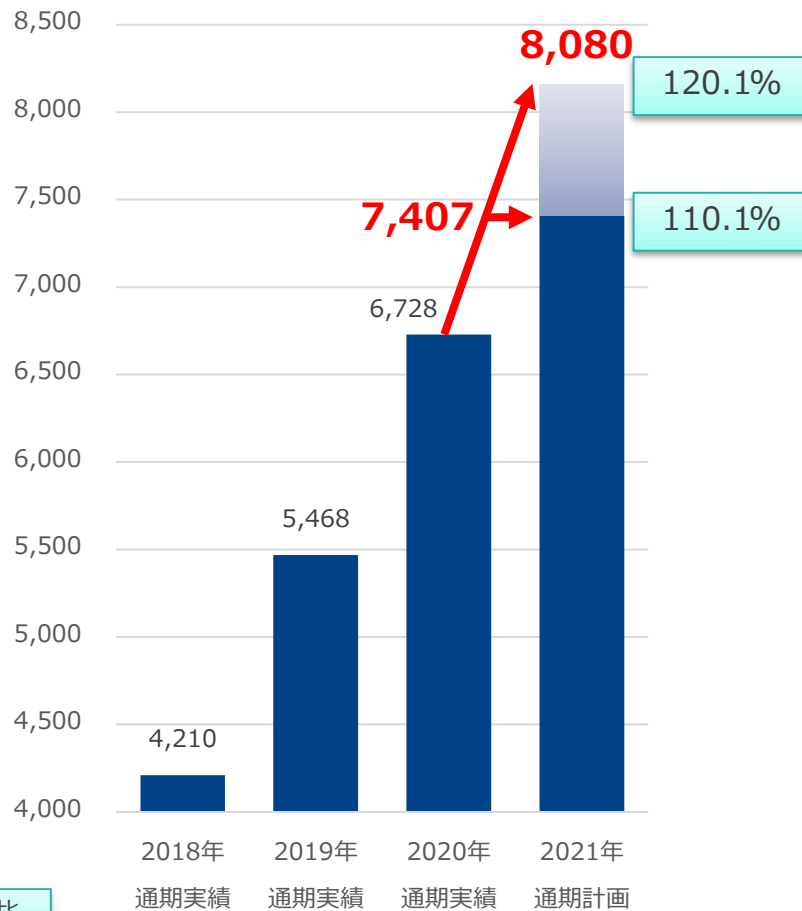
2021年3月期の業績は、
創業来**21期連続**となる
過去**最高売上高**を目指します。

2021年3月期
80.80億円売上～74.07億円
(前年比120.1%～110.1%)
の範囲で計画

当社サービス全般については、順調な成長が見込まれており、120%程度の売上成長を計画しております。

一方で現在、長期にわたる全世界規模での新型コロナウイルスの経済的影響が見込まれており、当社においても現時点では顕在化されていないリスクが存在している可能性があります。そのリスクに対する対応として最大で10%程度の売上低減を踏まえたレンジでの計画値を設定しております。

売上予想



前年比

(単位：百万円)

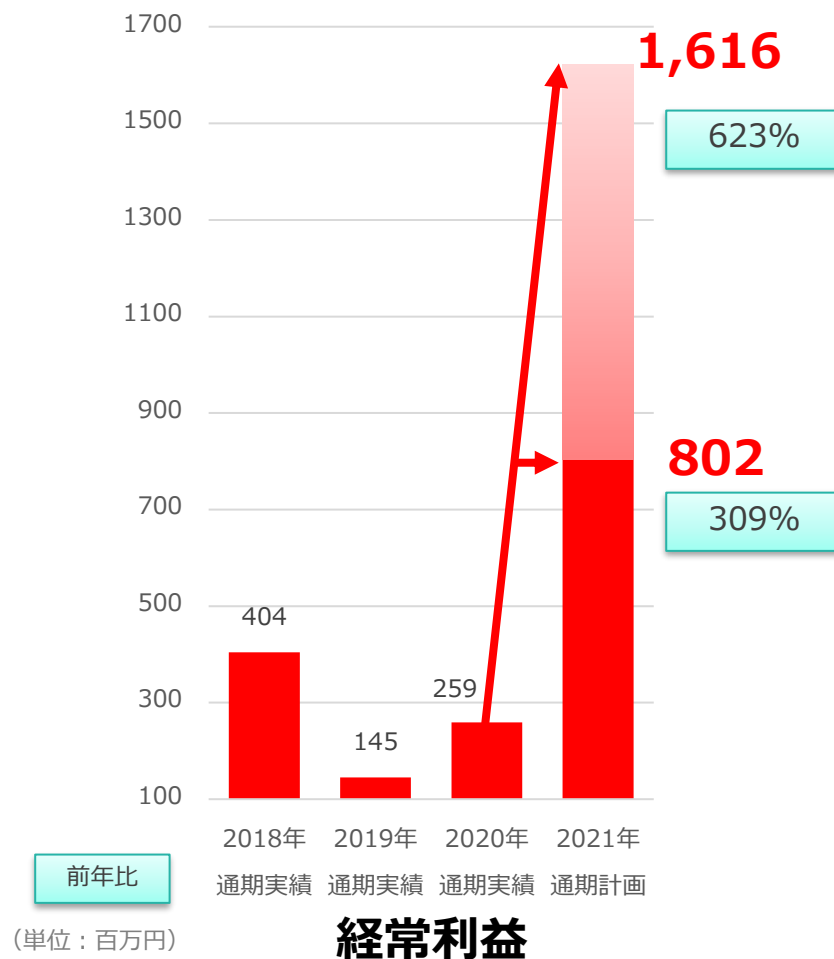
2018年・2019年は単体決算実績、2020年・2021年は連結決算実績

2021年3月期の業績は
過去**最高利益**を目指します

第4次産業革命の中心的企業になるべく
過去3カ年においてAI・IoT・Robotics分野に
積極的な投資を行ってまいりました。
当期は計画通り、利益回収を行う期と位置付けており、
経常利益率20%程度を計画しております。
一方で、特に新規サービスにおいては、新型コロナウイルスの影響が完全には予測できない状況であること、そのような中でも継続的な研究開発投資を当期も継続させることを計画しており、当期も前期に引き続き、レンジ形式による利益予想を採用します

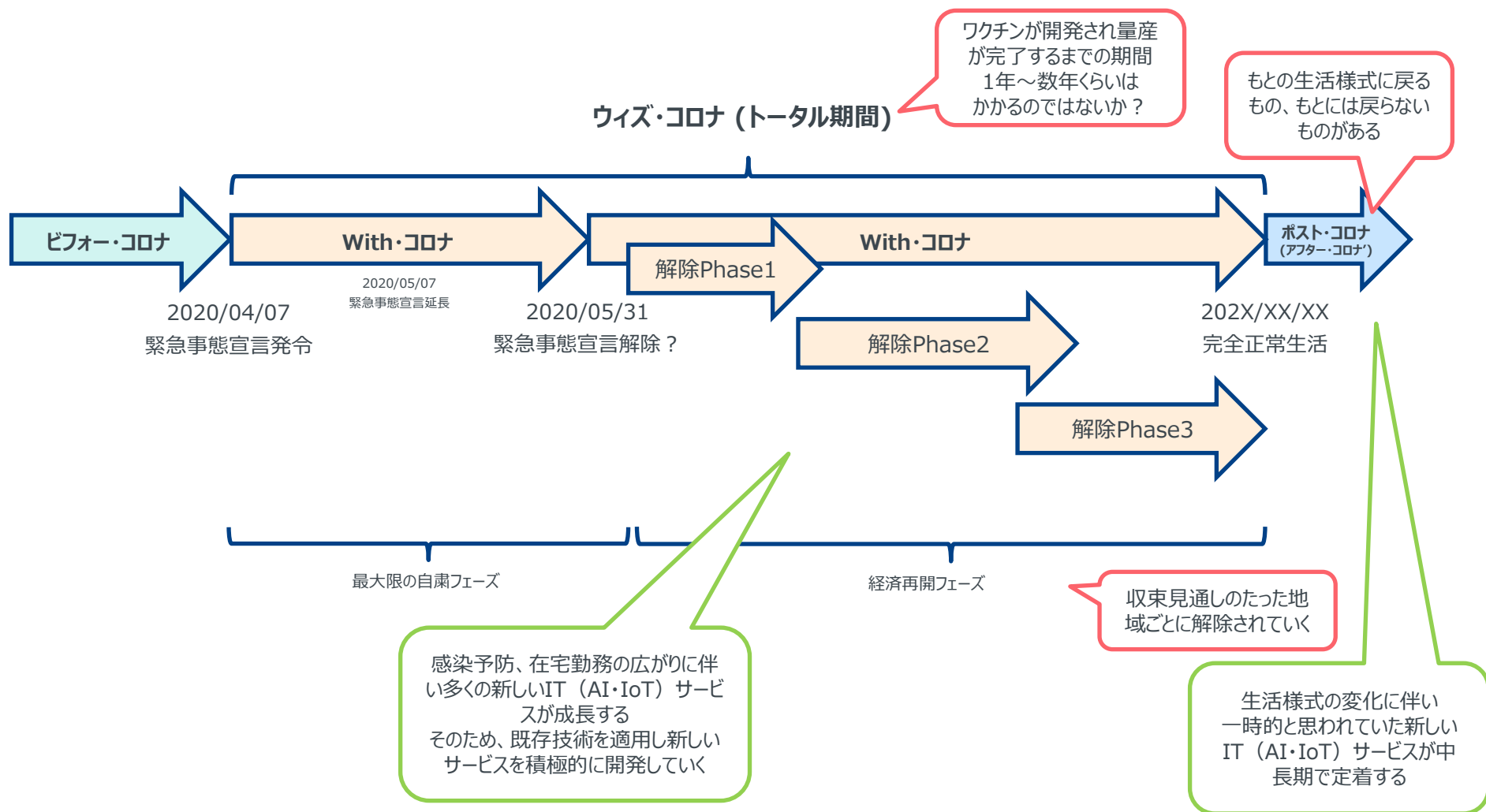
2021年3月期
経常利益**16.16億円～8.02億円**
(**経常利益率20%～10%**)
(**前年比309%～623%**)
の範囲で計画

過去3カ年実績利益推移、
及び、2021年3月期予想



2018年・2019年は単体決算実績、2020年・2021年は連結決算実績

当社における新型コロナウイルスの経済的影響の認識



新型コロナウイルスの経済的影響がさらに拡大した場合には事業計画の変更を必要とする可能性があります

ポジティブと思われるサービス

① リモートワーク関連

OptimalBiz
(MDM)

Optimal
Remote

遠隔作業支援

② 遠隔診療関連

遠隔診療

③ コロナ対策に関連する現場利用型AI関連

OPTiM AI CameraなどのAI系サービス

④ コロナ影響を受けにくいパートナーとのAI・IoTプロジェクト

慎重に影響を見極めたいサービス

① コロナ影響を受けやすいパートナーとのAI・IoTプロジェクト

② コロナ対策に関連しない現場利用型AI関連

OPTiM AI CameraなどのAI系サービス

現時点において、新型コロナウイルスの影響が当社の事業、サービスに大幅なマイナス影響が出ることは確認されておられません。ただし、今後、新型コロナウイルスの影響を受けやすいパートナーとのプロジェクトに影響が出る可能性があるかと認識しています。

業績への影響が確認され次第、速やかに開示いたします。

第4次産業革命の中心的企業になるべく過去3カ年においてAI・IoT・Robotics分野に積極的な投資を行ってまいりました。当期は計画通り、利益回収を行う期と位置付けております。

売上については、創業来**21期連続**となる過去**最高売上高**を目指します。

利益についても、過去**最高利益**を目指します

